

# 響け念仏 北の大地に 本願寺帯広別院だより

〒080-0803 帯広市東3条南5丁目3 TEL:0155(23)3720  
FAX:0155(21)4989 発行人: 輪番・石川勝紀

別院ホームページ  
http://www.betsuin.jp/ →

2024  
(令和6)年  
4月号



## 十勝組総代会・壮年会 4年ぶりの一泊研修会

令和6年2月26日(月)午後から27日(火)のお昼まで十勝川温泉にて、十勝組総代会・壮年会一泊研修会が開催されました。

新型コロナウイルス感染症のため休止していた一泊研修会は、4年ぶりに行われ、帯広別院から総代会・壮年会あわせて9名が参加しました。

名和康成師(空知南組善行寺住職)による、親鸞聖人のご苦労とみ教えについてのお話をいただきました。ご講師は「正信偈」について身近な話題からお話しされ、参加者一同うなずきながら受講させていただきました。

組内各寺院の総代・壮年会員が久しぶりの再会を果たし、喜びとともに充実した時間となりました。

久しぶりに宿泊をとまなう研修会。壇上の名和師のご法話を聞きまらうと誓つとめる。また、組内の同朋との再会をよここびあい、お聴聞に、懇親会に、温泉にと、大忙しのスケジュールを楽しんだ。

### 4月のご案内

教要 1日～3日13時30分〈講堂〉  
法要 15日・16日13時〈本堂〉  
経法要 13日～16日13時〈本堂〉  
大阪府 森佑真 師  
法要後引き続き永代経布教

### 5月のご案内

教要 1日～3日13時30分〈講堂〉  
法要 15日・16日13時〈本堂〉  
布教使 三重県 寺尾俊洋 師



5月18日・19日の慶讃法要と記念行事については2頁をご覧ください

### 本堂建物補修工事



建物のゆがみを止める(最終回)

工事前、赤い大きな屋根を見上げると、屋根の先(軒端)の高さがそろっていませんでした。これは、屋根を支える母屋や垂木など材木の収縮や、それを垂直方向に支える小屋束とのズレなどが原因でした。

そのため、ゆがみの進行を止めるための補強をしました。

まず、東西南北すべての方向の軒に向かって補強材を入れます。補強材は、写真①のようにトラス構造といわれる三角形の作りで、屋根の重みをしっかり下の柱に伝えるように工夫されています。あわせて、傾きや歪みのあったところが修正されました。

また、柱を斜め方向に支える金具や天井をつり上げる金具などの増し締めをし、必要な箇所には材木をボルトでとめ、補強しました(写真②)。

さらに、昨年11月27日には免振装置の20年定期点検を行い、現在も十分に機能していることを確認することができました。

歴代のご門徒の皆さまの思いの詰まった大切な本堂は、次世代による大規模修理まで耐えられるよう、工事が完了しました。

自他ともにたい人我兼利じんがけんり  
せつな言葉紹介

明日死ぬかのように生きろ 永遠に生きるかのように学べ

これは、インド独立の父として知られる政治指導者マハトマ・ガンジーの名言です。人それぞれ受けとめ方は違うでしょう。私はこの「明日死ぬかのように生きる」↓今を大切に、「永遠に生きるかのように学べ」↓学びにゴールはない、もしくは知識は重荷にならない、と個人的には受け取っています。

今から24年前のことです。私が帯広に来てすぐの頃、当時85歳のご門徒さんが自分でホームページを制作し立ち上げておられました。その方が言われていたのは、「何歳になっても学ぶことはできるのだ」と。

今からでも学べるこのわたし。ありがとう限りです。(渡邊)



**人間として生まれること 仏教に出会うこと**

お釈迦さまがガンジス河のほとりを、弟子の阿難と歩いていった時のこと。

「私の足もとにひろがる砂の数と、私が手のひらに乗せた砂の数はどちらが多いか？」お釈迦さまはひと握りの砂を手にとり、阿難にたずねられました。

「はいお釈迦さま。足もとの砂の方が多く、手のひらの砂の方が少ないです」

「その通りです。この世の中に生命あるものはたくさんいる。その中で人間として生を受けたものはどれくらいいるだろうか。足もとの砂に比べて、ちようど手のひらに乗せた砂の数くらいだろう。人間に生まれたことの意味を、もう一度深く考えてみたいものです」

「では阿難よ。私の手のひらにあった砂の数と、今、私が爪の上に乗せた砂の数はどちらが多いか？」

「はいお釈迦さま。手のひらの砂の方が多く、爪の上の方が少ないです」

「そうですね。人間として生まれ、仏教の教えに出会うことは、わずかに爪の上に乗る砂の数ほどです。それほど難しいことなのです」

私たちは幸いにして仏教に出遇うことができました。

仏教の中でも親鸞聖人がお勧めくださったお念仏「南無阿彌陀仏」を称える身となるご縁に恵まれています。そうなるには、数多くのご先祖さまが生命のリレーの繰り返しの中、お念仏のご縁を喜び、大切に伝えてくださったご苦労がありました。南無阿彌陀仏。

ご法話



文：桐林一紀

4月 オススメの一冊



『お坊さんが教える ころが整う掃除の本』

北海道生まれで、東京の神谷町にある光明寺（浄土真宗本願寺派）の僧侶が書かれた本です。お寺で行われている日常的な掃除の作法が紹介されています。松本さんは、掃除は「ころ磨き作務」だと言われます。丁寧な生き方をころがければ、少しずつころがきれいになり、人に優しくなれるとも。たしかにその通りで、だからこそ掃除が苦手な私です。掃除を楽しみ、煩惱にくもったころを磨きたい。ご一緒に「ころ磨き作務」やってみませんか。（伊澤）

松本圭介著 / 176頁 / 1430円（税込み）  
デイスカヴァー・トゥエンティワン刊

北海道教区本願寺帯広別院  
親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年

慶讃法要

5月18日(土) 14時  
公開講座 特別講演  
坂東 元さん  
旭山動物園園長

5月19日(日)  
11時  
帰敬式

13時  
門信徒の集い

札幌・小樽・函館・江差・帯広の  
5別院を中継でつなぎ、各別院の  
紹介やインタビューを行います

慶讃法要

記念布教  
北島 清秀 師  
島根県乗光寺住職



※境内駐車場が満車の際は臨時駐車場の  
帯広神社さま・十勝総合振興局さま  
をご利用ください

さくら保育園「ひなまつり」

雅楽、お抹茶なども

3月1日(金) 10時、さくら保育園では年間行事の「ひなまつり」が催されました。参加した別院職員が雅楽の披露で花を添え、園児さんたちは驚きながらも楽しんでいました。筆箋と龍笛で童謡「うれしいひなまつり」を演奏すると、園児さんたちは「知ってるよ」「ひなまつりの歌だ」と笑顔があふれました。先生方がおだり様とおひな様に扮して登場する際には、式典などでもよく知られた雅楽「越天楽」を演奏しました。



最後に年長児さんは先生方のお手前でお抹茶をいただき、お作法にのっとり、桃の節句を味わっていました。

幼稚園・保育園卒園式

3月9日(土) は鉄南保育園、藤花保育園、16日(土) は帯広幼稚園、さくら保育園にて、卒園式が挙行されました。コロナ禍の人数制限や歌・催し物の制限が解除され、従来の厳かかつ賑やかな式となりました。



鉄南保育園、藤花保育園、さくら保育園では卒園児さんが将来の夢を一人ひとり発表し、帯広幼稚園では卒園児さんから在園児さんへの歌や、在園児さんからお祝いの言葉がありました。

子どもたちは未来に期待を膨らませ、新たな一歩を踏み出されました。